



トライトン&ハイラックス推奨サイズ

17×8.0J+20 18×8.0J+20 18×9.0J+18 20×9.0J+18

トライトンとハイラックスへのサイズは、17、18、20インチが設定されている。今回撮影したブレインストームデモカーはハイブフンダーを備えたアーバンワイルドなスタイルを目指し、ブラド向けチューナーサイズとなる18×9.0J+0をチョイス。フェイス3とセンターハート深度53mmの最深タッグで最上級の逞しさを足もとに打ち出した。

ストレートにシンプルで力強く 飾りのいらない“質実剛健”

速さありきで無駄を削ぎ落とす機能美デザインで仕上げられたレーシングホイールをルーツに持ち、その質実剛健さがフィードバックされ、ストリートでロングセラーを誇ってきたワークのマイスターS1。そんな名作へ新たに仲間入りするのは、139.7や150といったラージP.C.D.のSUVへ向けて高剛性な1ピースモデルとした「マイスターS1 1ピースSUV」だ。

さて、これまでのS1はリム深度自在の2&3ピース展開だったこともあってオンロードイメージの強かったマイスターS1だが、今回マッチング車両として登場してくれたブレインストームのトライトンGSRを見ればわかるように、リフトアップしたオフロードスタイルも逞しく支える仕上がり。応力分散や強度、剛性を求めた骨太の5本スポークはマシシブなオフ系タイヤをも難なく従える力強さが放たれていて、堂々たる佇まいとなっていた。

なお、マイスターS1といえばショートスポークで大胆に描くコンケイプ&センターハートの深みがアイデンティティのひとつだが、1ピースSUVはそうした深みを過酷なオフ走破に耐えるリップ構造のディープリムへコンピネーション。ポリウムあるSUVのボディに迫力負けすることのない足もとを打ち出し、オフスタイルに向けてアップグレードされたマイスター伝統の機能美を見せている。



JWL-T認証取得のために厚みが引き上げられたスポークは3つのコンケイプを持ち、MAX53mm深度のセンターハートと展開。過酷なオフロード走行を支えるリップ構造のディープリムとあわせて、足もとの深みを全方位へ押し出ししていく。

MEISTER S1 1PIECE SUV

マイスター・エスワン ワンピースエスユーブイ

@ワーク <https://www.work-wheels.co.jp/>

16×5.5J~8.0J	5-139.7、5-150	4万6200円~5万1700円
17×8.0J	6-139.7	5万9400円
18×8.0J~9.0J	6-139.7、5-150	6万2700円~6万4900円
20×9.0J	6-139.7、5-150	8万1400円

■カラー:アッシュドチタン、マットブラック

■構造1ピース



ラージP.C.D.でも足長感が高まるように小径へ追い込んだセンターサークルには専用デザインのセンターキャップをマッチング。また、応力分散に優れたスポーク開口形状はブレーキの放熱性も高める機能美デザインだ。

